

とうきょうすくわくプログラム活動報告

●クラス : ちゅうりっぷ組 (2 歳児)

●日時 : 春～夏

1. 活動テーマ

*テーマ : 「自然物」

*テーマの設定理由 : 園の周りには自然物がたくさんある公園が点在しています。子ども達が毎日散歩に出掛け、様々な虫や花、葉っぱなどに興味を持ち始めた事をきっかけにこのテーマに取り組むことにした

2. 活動スケジュール : ・園周辺の公園に散歩にでかけて探索する

・春、夏ならではの虫などの自然物に興味を示し始めたら、働きかけていく

・虫の名前などを調べてみる

3. 活動の為に準備した素材や道具、環境設定 : 虫かご、カップ

4. 探究活動の実践

*活動内容 : 園周辺の公園には自然物がたくさんある事に気付いて行けるよう働きかけ、少しずつ興味を持ちはじめ、てんとう虫やアリなどの虫を見つけたらカップなどに入れてじっくり観察できるようにする。怖がっている子に「怖くないよ」などの声掛けが子ども同士で見られ、少しずつ触れ合う事ができる様子が見られた

*活動中の子どもの姿・声・子ども同士や保育者との関わり



虫を見つけると「みつけたよ～」と保育士や周りの友達に知らせる。容器を渡すと虫を入れて、形や歩く様子などを観察をしていた。恐る恐るの為あまりことばは出なかったが視線は釘付けでしばらくの間見入っていた。



その後、手に乗せてみたい子は乗せてもらったり、触ってみたい子は自分で手の上に乗せてみたりしていた。そこから、虫が手から飛び立つ様子をじっくりと観察していた。飛び立ってしまった後、どんなところにいるか探しに出掛ける姿があった



振り返り : 保育士と公園内を探索中、草むらの中からてんとう虫を発見したことをきっかけに、他の子ども達も興味を示すようになった。おそろおそろ覗き込む子や、初めから触ろうと挑戦する子もいた。「どんなところにてんとう虫はいるのかな？」の問いかけにははじめはわからない子どもたちだったが、保育士と共に探しているうちに、アリは地面にいるけれど、草の茎や葉っぱにとまっている事を発見。実際に探してみると、たんぽぽの茎にいたり、ヨモギの葉っぱにとまっているのを発見することができた。2歳児なりの認識でアリとてんとう虫の違いに気付くことができた。この気づきを大切に繋げていきたい。

とうきょうすくわくプログラム活動報告

●クラス : ちゅうりっぷ組 (2歳児)

●日時 : 秋～冬

1. 活動テーマ

＊テーマ : 「自然物」

＊テーマの設定理由 : 虫の姿が見られなくなった秋～冬に散歩先の公園で子ども達が目を付け興味を示したのが、どんぐりや枯れ葉や落ち葉だったのでこのテーマでも取り組んでみることにした。

2. 活動スケジュール : ・園の周辺にある普段から行く公園に出かけて探索する。

・木から落ちてきたどんぐりや落ち葉や枯葉に興味を示したら、働きかけていく。

・どんぐりの名前を調べる。

3. 活動の為に準備した素材や道具、環境設定 : ・どんぐりを入れる為の袋。

・どんぐりや葉が落ちる木が載っている図鑑。

4. 探究活動の実践

＊活動内容 : 園周辺の公園には、どんぐりや落ち葉が落ちている事に気づけるように働きかけていく。

興味を持ったらどんぐりや落ち葉を園に持ち帰り、図鑑で調べてみる。

＊活動中の子どもの姿・声・子ども同士や保育者との関わり



たくさんのどんぐりを拾っていくうちに、どんぐりの形の違いに気が付くようになった。前に拾った事があるとどんぐりを拾うと「これは拾った事があるよ」と言うようになっていった。



葉っぱが落ちる木の葉っぱは色がいろいろな色に変化している事に気が付き、黄色・赤・オレンジ・茶色とたくさんの色の違いを楽しみながら集めたりしていた。「きれいだね～」などのこえが聞かれた



5. 振り返り : 保育者と身近な公園でどんぐりを見つけるとどんぐりを拾う事に夢中になった子ども達に園に持って帰って図鑑で調べてみる事を提案するとすぐにやる気になり、行く公園ごとにどんぐりを見つけると持って帰るようになり調べ始めた。その結果どんぐりにはたくさんの種類や形がある事に気付くことができた。また、落ち葉についてもどんぐり同様園に持ち帰り調べたいと子ども達から声が上がったので持ち帰り調べてみると、落ち葉が落ちる木と落ちない木がある事に気付くことができた。